

疾病啓発から治療ジャーニーまで一気通貫 「本当に価値のある」患者体験の最適化を実現するためには？



演者

塚本 貴映 氏

株式会社クオンティア
CSO
シニアマネージャー

データ駆動型社会が実現されつつある今、ライフログデータとしての“PHR (Personal Health Record)”は、これからの社会・医療課題の解決に欠かすことができません。一方、プラットフォームとしての“PHR”は、ライフログデータのみならず医療データやマイナポータルデータ等を含む生活者個人の医療ヘルスケアデータ統合プラットフォームの役割を果たし、これからのデータポータビリティ社会において、どれほど重要な存在となるか…容易に想像できるでしょう。

本年度、全11回で月次開催する「Welby Lunch Session」では、データポータビリティ社会の実現に向け、医療・ヘルスケア領域における豊富な知見と実績を持つプロフェッショナルをお招きし、PHRデータ流通のビジネスへの応用に関する法令の解説や、安全なデータ流通のための新技術、さらに具体的なソリューションや事例を示しながら、医療DXの先にある社会と生活者の姿についての展望を皆様にお届けします。

第22回は、疾病啓発からアドヒアランス向上まで、一気通貫した患者ジャーニーを戦略的に描くためにできることは？をテーマに、製薬業界で起こりがちな「点と点の施策」をいかに繋げて、「リターンの見えない短距離走」という点の施策を「新たな価値創造を実現する中長期的な事業戦略基盤」へと変革できるか？をサービスデザイン思考とアジャイル開発の視点からお伝えいただきます。

Welbyのデータプラットフォームを土台に、患者にとって価値のある＝患者にとって本当に必要な体験構築をどのように設計するべきかを、様々な業界でよく見る失敗ポイントを交えながら、B2Cマーケティング視点でお届けします。

日 時

2025年 12月 23日 (火)
12:05 ~ 12:55

場 所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2025年 12月 22日 (月) 17:00まで

お申込みは**下記の二次元コードを
クリック**または**読み取り**ください

